（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	みんなの遊び広場　インクルーシブ教育事業
事業主体 （連絡先）	一般社団法人 笑顔の花 長野県安曇野市豊科 4932 番地 13
事業区分	（３）教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,966,556　円（うち支援金：　2,353,000 円）

事 業 内 容

① 屋内遊戯施設　親子のあそび広場
病気や障害を持った子ども達をまん中に、子ども達や親同士の交流、地域住民が繋がれる場を

② インクルーシブ体験会・ワークショップ
障がい者との遊びワークショップを通じてインクルーシブ体験を学べる実践の場

③ 地域交流イベント
多様性のある子と家族の地域交流と繋がりの場

④ オンライン・シンポジウム
事業を通じて行政・教育関係者、小児医療・福祉関係者と現場から見える「インクルーシブ教育」を学べる講義を行う。参加者との質疑応答意見交換の場。

【屋内遊戯場の移動支援】

【目標・ねらい】

① 室内遊戯施設の普及
② 地域の繋がり多世代交流
③ 障がい児の移動支援
④ 親子の居場所づくり

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①　屋内の遊び広場（天候に左右されない集いの場）
地域の親子の集いの場として高いニーズがあり市外からもたくさんの親子が訪れました。県内各地で定期的に開催してほしいとの声をいただいています。（実績：511 人・目標：1,000 人）

②　ワークショップ（インクルーシブ体験会）
障がい児者と一緒に遊ぶコミュニケーションを通じて、あらゆる肩書や垣根を越え多様な人々と繋がる交流できました。医療従事者や教育関係者との連携で実践力を磨き深める学びの場として発展しました。（実績：1,147 人・目標：300 人）

③　**シンポジウム**　活動の担い手の育成に繋げます。

※自己評価【　A　】

【理由】
屋内遊戯場は年齢や性別、障がいの有無に関わらず、赤ちゃんから高齢者まで、多世代交流の場としての想像以上のニーズがあった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

屋内遊戯施設の想像以上の反響にあそび場を開催して行く担い手に向けた勉強会と実地研修の予定を来年度計画しています。療育遊具を取り入れみんなで協力しながら、障がいの有無に関わらず赤ちゃんから高齢者まで一緒に遊びコミュニケーションを通じて楽しみ学べるのが私たちの事業の特色です。安曇野市を活動拠点にインクルーシブ体験の場として地域の繋がりや助け合いが広がるきっかけづくりとして次年度に繋げて行きます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある